

事業説明会【野川河床整備】

東京都北多摩南部建設事務所

日 時 : 令和元年 6月 4日 19時より

場 所 : 調布市金子地域福祉センター 大集会室

次 第

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 職員紹介
4. 野川河床整備事業について
5. 質疑応答
6. 閉 会



野川河床整備事業説明会

令和元年6月4日（火）

東京都北多摩南部建設事務所



野川の整備状況



～野川の概要～
 流域面積：69.6km²
 流路延長：20.2km



国分寺市内



小金井市内



野川大沢調節池規模拡大工事中



世田谷区内 (河床整備済)



世田谷区内 (最下流部)



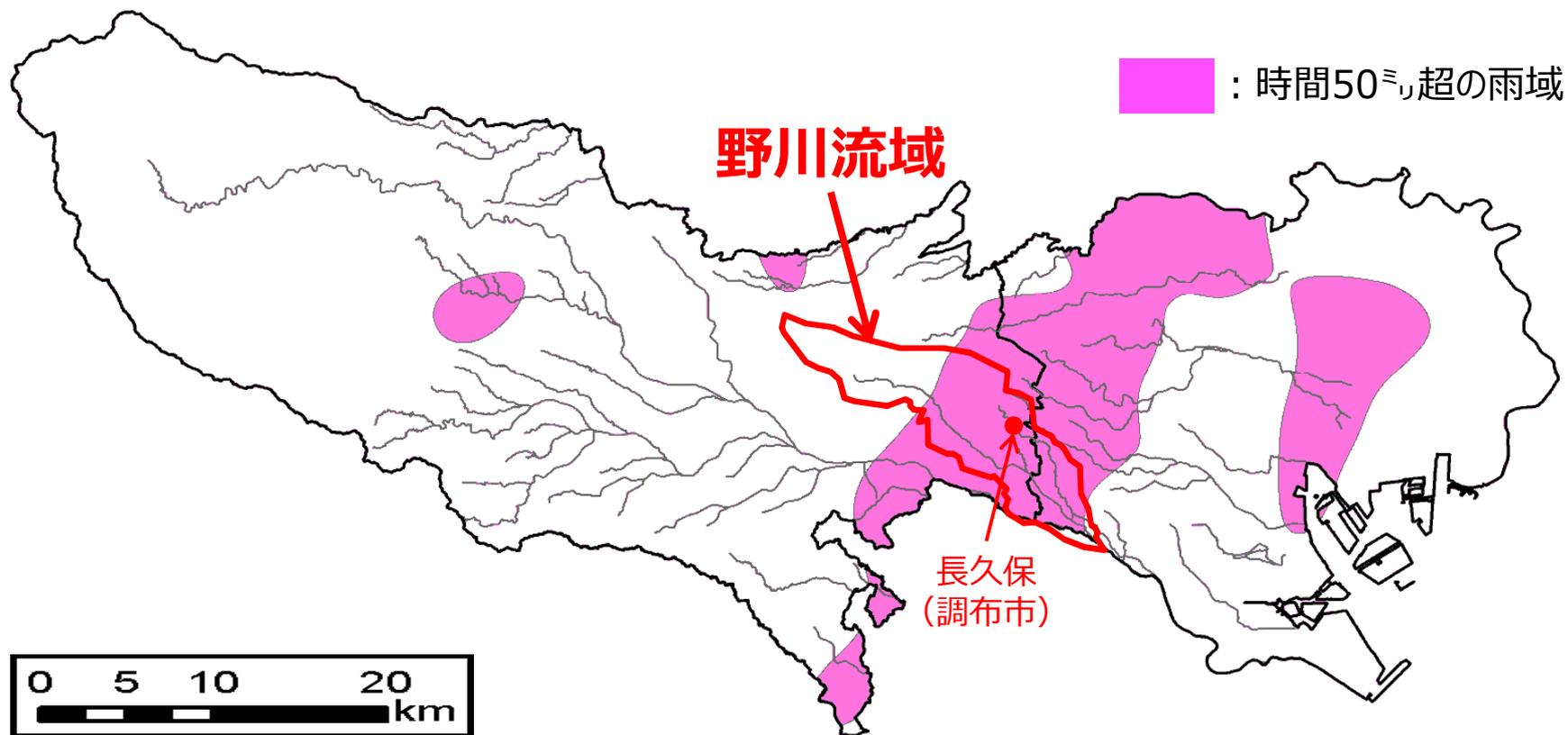
調布市内 (高谷橋付近)

- 凡 例
- 事業説明会範囲(約2.0km)
 - 整備済(時間50mm/hr)
 - 河床整備予定(護岸整備済)
 - 未整備

野川流域における近年の豪雨の発生状況

【平成17年9月豪雨】（9月4日～5日）

- ・都内各所で時間最大100 mm 以上の豪雨【野川流域最大雨量109 mm/hr (長久保)】
- ・妙正寺川や善福寺川、野川など8河川で溢水
- ・都内全域で浸水家屋5,846戸の被害が発生

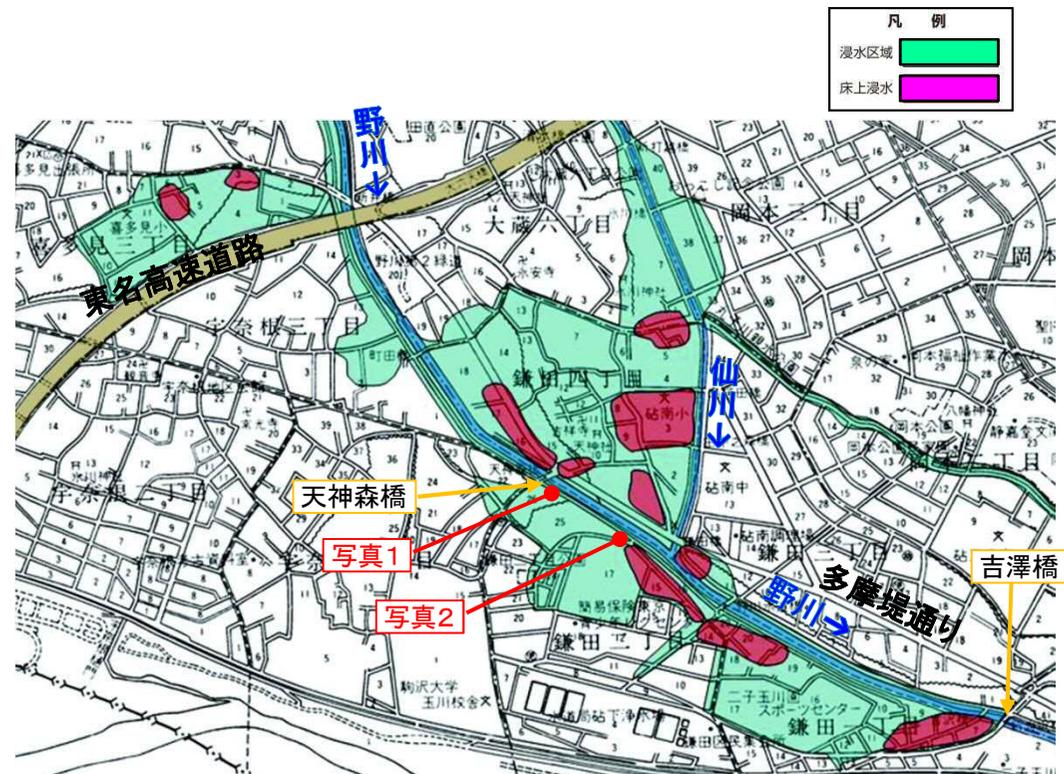


1時間最大雨量が50 mm を超えた雨域

野川流域における水害の状況

【平成17年9月豪雨】

- ・総雨量 : 144 ミリ (流域平均)
- ・時間最大雨量 : 109 ミリ/hr (長久保(調布市))
- ・浸水家屋数 : 452 棟 (仙川・入間川含む)



野川天神森橋付近 (世田谷区内) の水害状況

下流部の浸水被害状況図

降雨状況の変化に対応した新たな整備方針

中小河川における都の整備方針（平成24年11月）

東京都豪雨対策基本方針（平成26年6月）

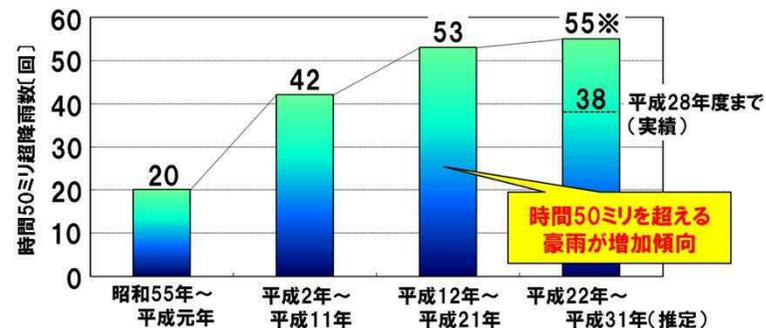
〔目標〕

目標整備水準

時間最大50ミリ降雨



時間最大65ミリ降雨（多摩部）



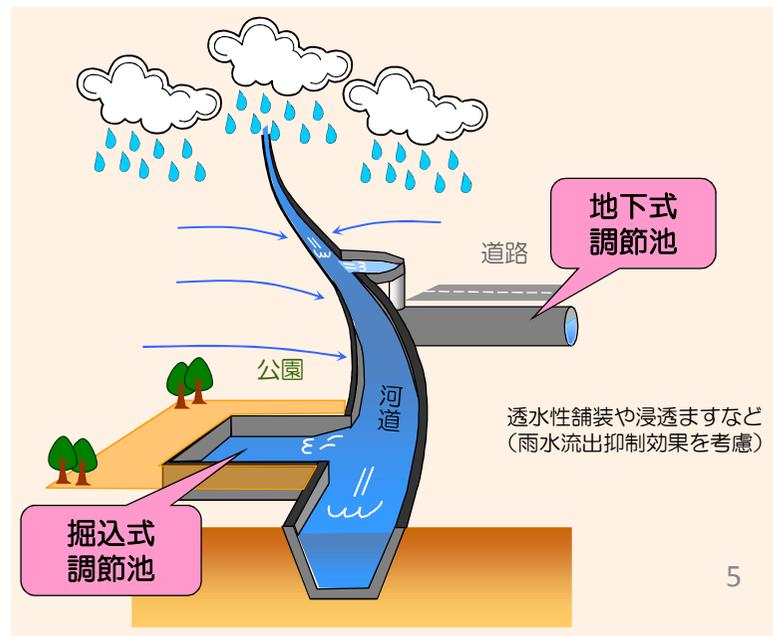
※平成31年度まで降雨数は、28年までのデータを基に推定(5.4回/年)

〔対策を強化する流域〕

甚大な浸水被害が発生している流域
(神田川流域、石神井川流域、
野川流域、境川流域など9流域)

〔具体的な対策〕

- ・道路下や公園等の公共空間を活用した新たな調節池の整備など



野川流域河川整備計画の変更

野川流域河川整備計画（平成29年7月変更認可）

- 計画期間は約30年
- 野川、仙川、入間川の3河川が対象

【主な整備事項】

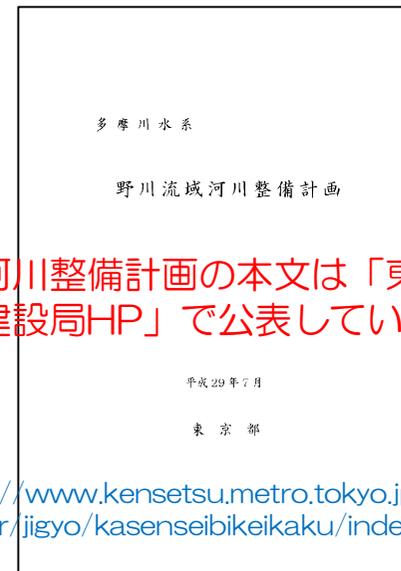
■ 第4章 河川の整備の実施に関する事項

<洪水対策>

- 河川への流出を抑制する流域対策と組み合わせて、**1時間あたり65ミリの規模の降雨に対応**
- 1時間あたり50ミリの規模の降雨に対応できる河道に加え、**洪水を貯める調節池を整備**
- 現況流下能力を確認して、計画洪水に対して能力が不足している箇所は、**河川環境に配慮して河床掘削**

<河川環境>

- **親水空間の創出**、生態系の連続性の確保、低水路・高水敷の整備及び保全、**瀬や淵の形成**など
- 瀬切れ対策として**不透水層の設置**

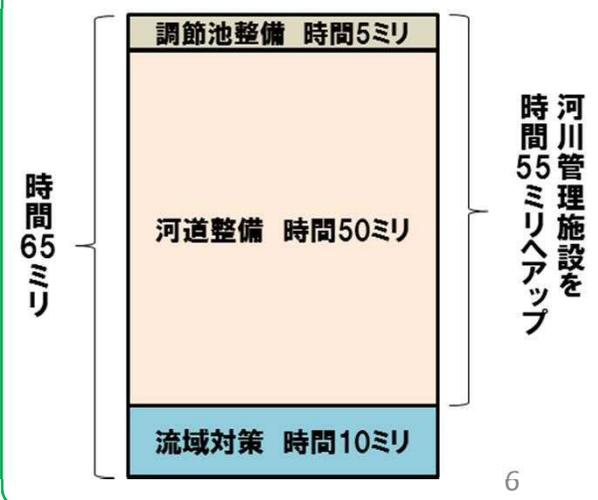


◎河川整備計画の本文は「東京都建設局HP」で公表しています。

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/river/jigyo/kasenseibikeikaku/index.html>

○目標整備水準65ミリ(多摩部)

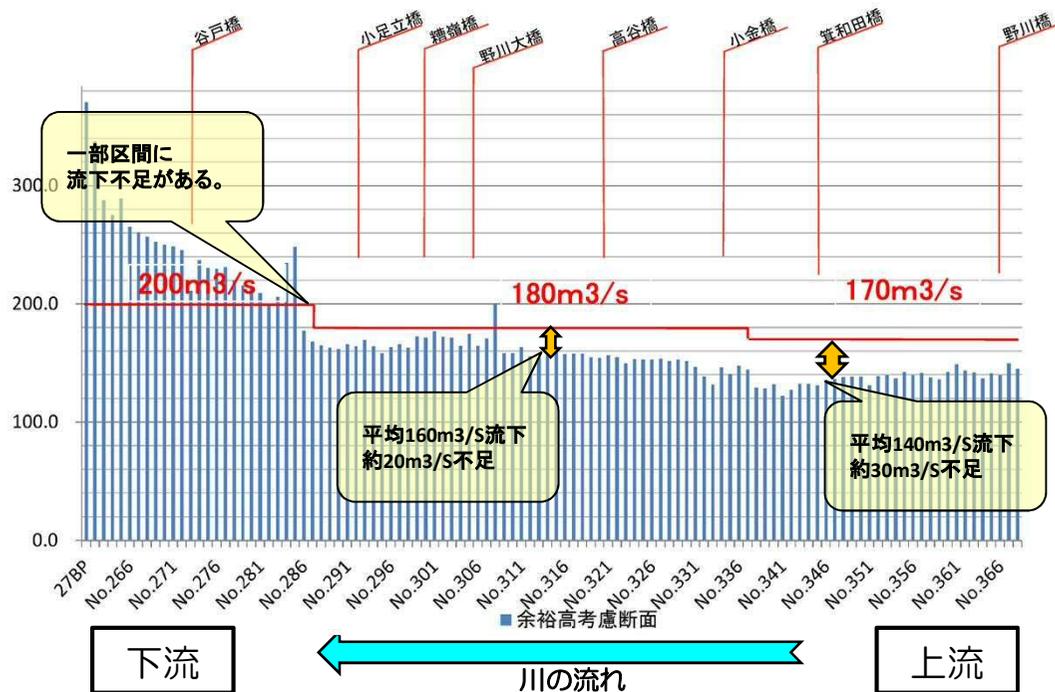
の役割分担



今回整備区間（区市境～野川橋間）についての現状（治水面1）

- 時間50ミリの降雨に対応する護岸は整備済
- 現状では、概ね時間50ミリの降雨に対する流下能力が不足している

現況流下能力図(区市境～野川橋間)



安全な流下能力の確保は必須

平成28年8月22日 台風9号
野川流域平均 時間最大雨量38 (mm/hr) 総雨量138mm

<参考>

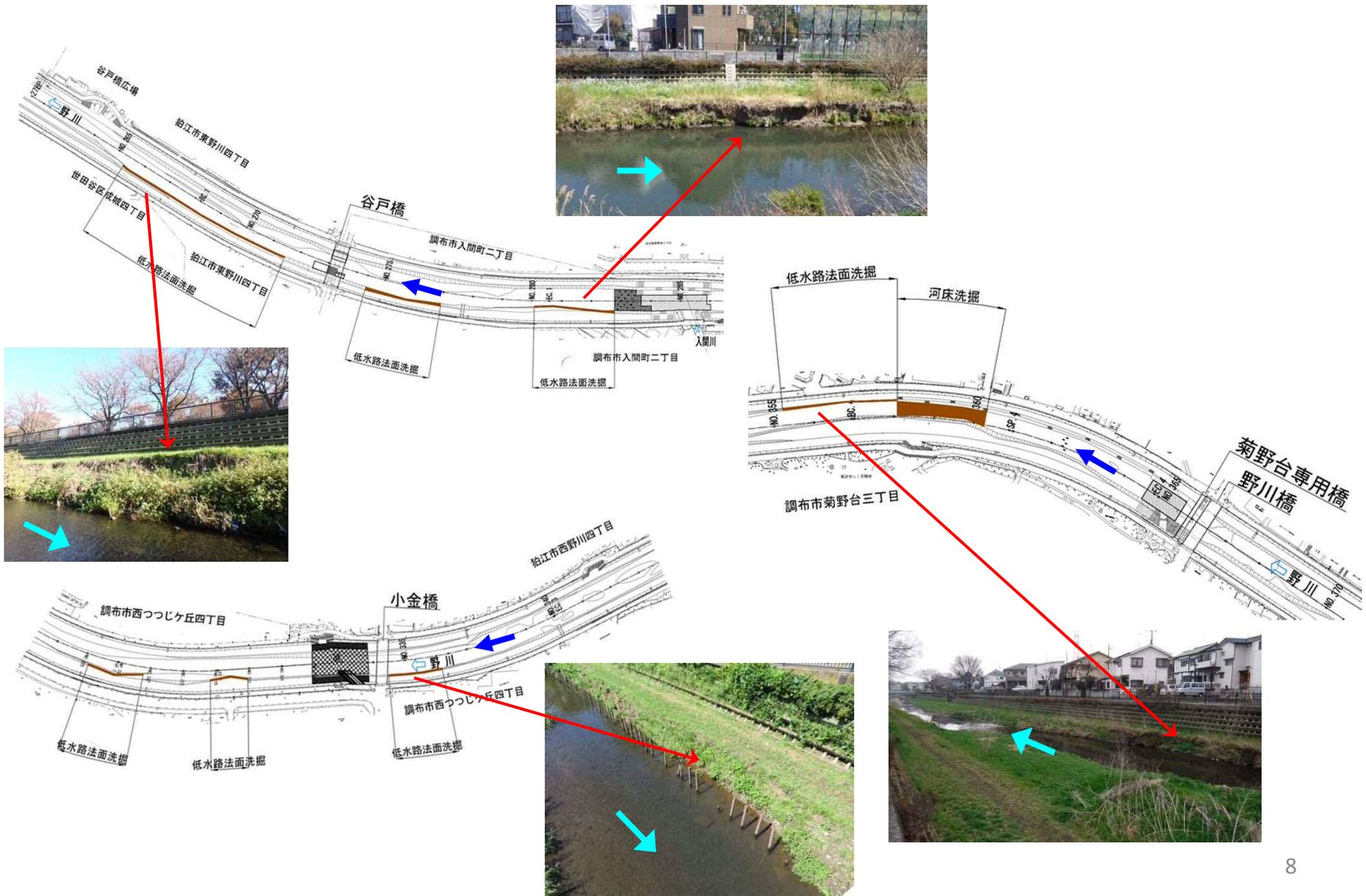
- ・鞍尾根橋 : 時間最大雨量47(mm/hr) 総雨量173mm
- ・野川公園 : 時間最大雨量37(mm/hr) 総雨量132mm
- ・長久保 : 時間最大雨量28(mm/hr) 総雨量110mm
- ・入間川分水路: 時間最大雨量40(mm/hr) 総雨量137mm



撮影日：平成28年8月22日 台風9号

今回整備区間（区市境～野川橋間）についての現状（治水面2）

○経年の洪水の影響で、野川の曲線部外側において洗掘が進行している。



今回整備区間（区市境～野川橋間）についての現状（環境面1）

○調査の結果、多種多様な生態系を有している。

※写真は「野川の生きものガイドブック」野川流域連絡会生きもの分科会 2018年9月より抜粋。

<植物>

ヒメガマ、ヨシ、ススキ、オギ、ジュズダマ、ミソソバ、イタドリ、シロツメグサ、クズ、ナズナ、オランダガラシ、ワルナスビ、セリ、オオバコ、ヨモギ、ヒメジョオン、オオバタクサ、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ など

【希少種】 ウキヤガラ、ミクリ、ホラシノブ

【特定外来種】 アレチウリ、オオカワヂシャ



ヒメガマ



ウキヤガラ



アレチウリ

<昆虫>

ハグロトンボ、シオカラトンボ、ギンヤンマ、アゲハ、ベニシジミ、ヒメウラナミジャノメ、キマダラセセリ、モンシロチョウ、モンキチョウ、ショウリョウバッタ、イナゴ、カメムシ類 など

【希少種】 ヒラタクワガタ（♀）



ハグロトンボ



ベニシジミ



ヒラタクワガタ(♀)

<魚介類、水生動物>

オイカワ、ヌマムツ、タモロコ、モツゴ、ギンブナ、コイ、スミウキゴリ、ライギョ、スジエビ、カワリヌマエビ、アメリカザリガニ、サカマキガイ、イトミミズ、シマイシビル、ミズムシ、ヒラタドロムシ など

【希少種】 ドジョウ、シマドジョウ、メダカ、カマツカ、ニゴイ



オイカワ



スミウキゴリ



ドジョウ

<鳥類>

カワウ、カルガモ、コガモ、オオバン、アオサギ、タシギ、ドバト、ツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ユリカモメ、ハシブトガラス など

【希少種】 カワセミ、バン、クイナ、コサギ、モズ、ダイサギ、セグロセキレイ、ウグイス



カワセミ



バン



セグロセキレイ

今回整備区間（区市境～野川橋間）についての現状（環境面2）

○野川では、たびたび「瀬切れ」の現象が生じており、生態系の連続性が損なわれている。

※ 瀬切れ：平常時において河川の水量がなくなる現象



小足立橋下流



箕和田橋上流

平成16年7月 瀬切れ
【入間川合流点付近から大町橋上流】



小金橋下流



野川橋下流

平成29年7月 瀬切れ
【高谷橋上流から大町橋下流】

○水際に降りられる階段施設の整備により、河川内を散策や各種イベントで利用されている。



小金橋下流左岸



小足立橋下流右岸



野川橋下流左岸



高谷橋下流右岸



河床整備区間（区市境～野川橋間）の方針

I 野川河床整備について

東京都では、野川流域河川整備計画に基づき、野川の河床掘削を下流の世田谷区から進めてきています。

野川の河床掘削を実施する区間の計画は、新井橋（世田谷区）から榛沢橋（三鷹市）までの8.98kmです。その内、**当事務所管内（各市内）約6kmのうち、下流側区市境から野川橋までの約2kmを当面の期間として整備します。**

現在、世田谷区域の河床掘削が進んだことにより、**今年の秋頃から狛江市・調布市管内の河床掘削を順次下流から行う予定です。**

II 整備の目的

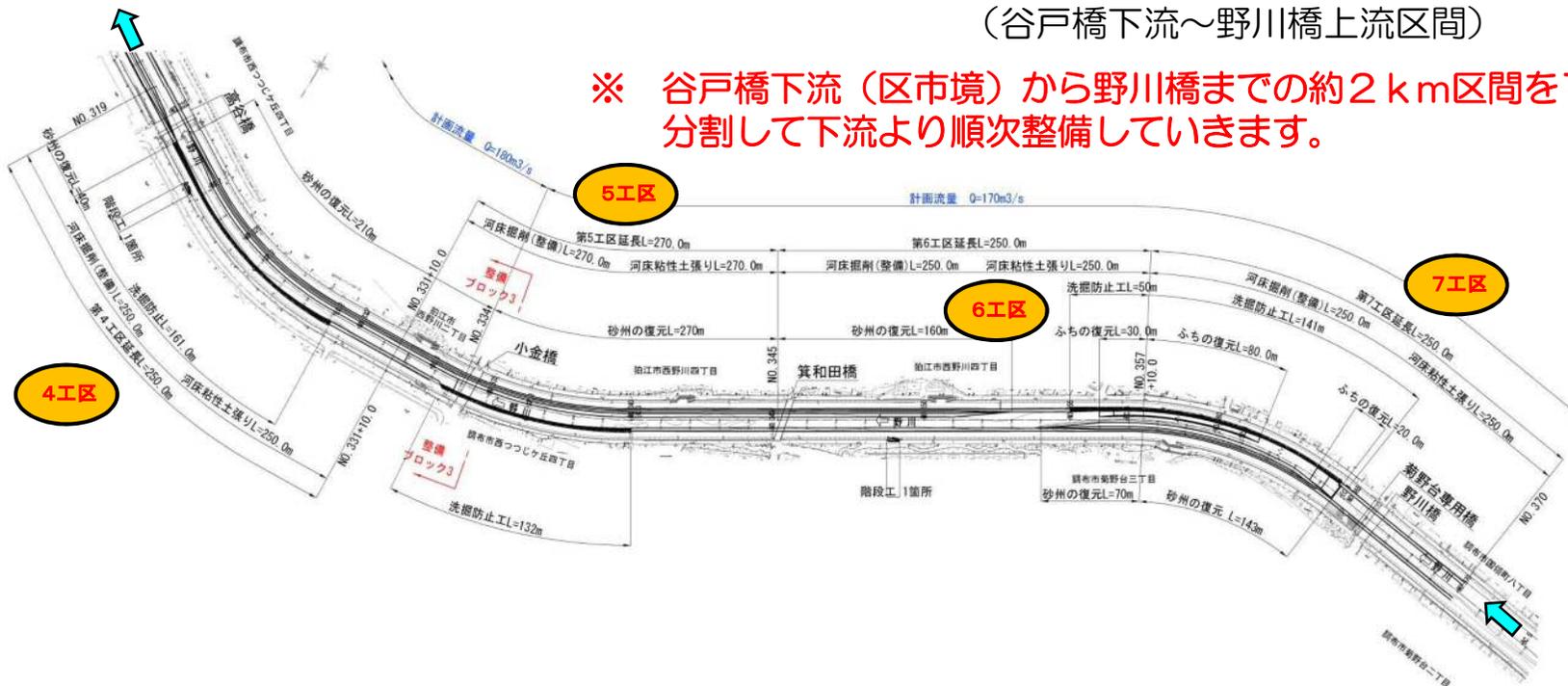
- 【治水】 ① 時間50^{mm}降雨の洪水に対して能力が不足している箇所は、**現在の河川環境に配慮して河床掘削**を行います。
- ② 河川の洗掘が進行している区間は、**洗掘防止対策**を行います。
- 【環境】 ③ 瀬切れの発生により動植物の生息・生育・繁殖環境に影響のある区間については、**瀬切れ対策**を行います。
- ④ 散策路として利用できるように、**水際に降りられる階段を増設**します。

河床整備区間（区市境～野川橋間）の整備内容



野川河床整備全体平面図
(谷戸橋下流～野川橋上流区間)

※ 谷戸橋下流（区市境）から野川橋までの約2 km区間を7工区に分割して下流より順次整備していきます。

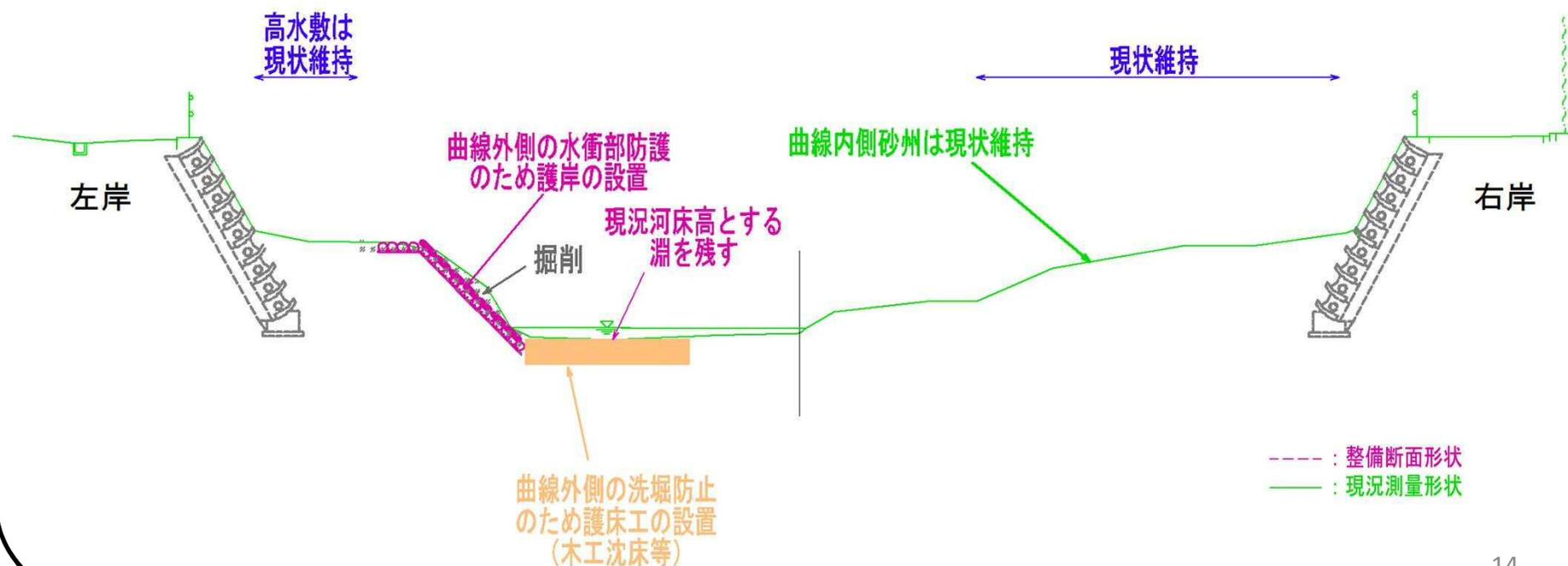


※ 全区間の整備内容は、現時点での案であり、各工区の具体的な整備内容は、今後検討していきます。

河床整備区間（区市境～野川橋間）の整備内容

谷戸橋下流（区市境）～入間川合流点の整備内容

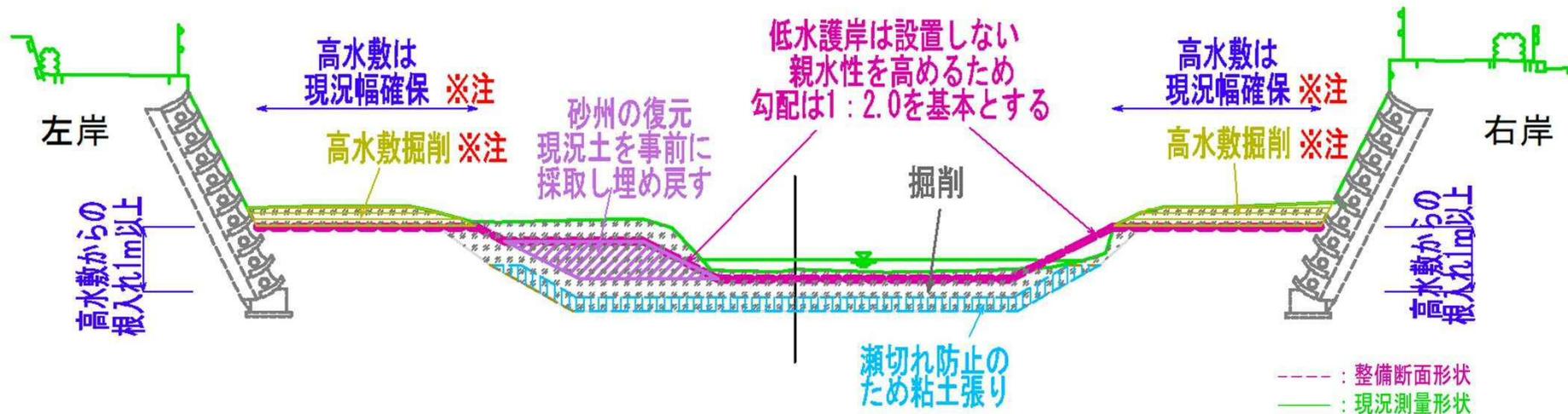
1. 洪水に対する安全の確保（洗掘防止対策）
2. 現在の河川形状（淵、砂洲）の保全
3. 動植物の良好な生息区間の維持保全



河床整備区間（区市境～野川橋間）の整備内容

入間川合流点～小金橋下流の整備内容

1. 洪水に対する安全の確保（洪水時の流下能力確保、洗掘防止対策）
2. 現在の河川特性の復元
3. 現在の河川歩行空間の確保
4. 野川の「瀬切れ」状態の防止

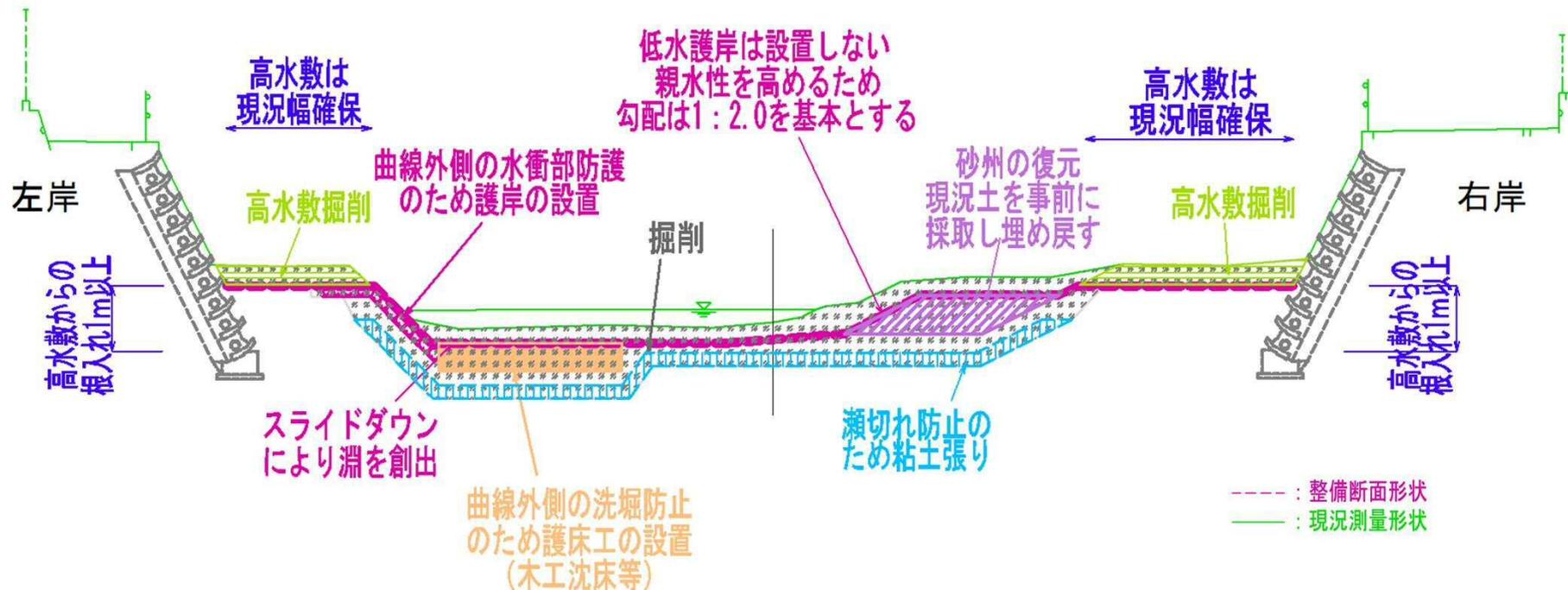


※注:入間川合流部から糟嶺橋下流区間は、現状から高水敷を掘削すると護岸への影響が生じるため、高水敷の掘削はしません。

河床整備区間（区市境～野川橋間）の整備内容

小金橋下流～野川橋の整備内容

1. 洪水に対する安全の確保（洪水時の流下能力確保、洗掘防止対策）
2. 現在の河川特性の復元
3. 現在の河川歩行空間の確保
4. 野川の「瀬切れ」状態の防止



今後の予定

○令和元年9月下旬～10月上旬頃（予定）

- ・ 施工業者と野川河床整備工事の工事契約締結
- ・ 工事区間：谷戸橋下流～小足立橋下流 施工延長 約440m

○令和元年11月上旬頃（予定）

- ・ 野川河床整備工事に関する工事説明会開催
- ・ 対象区間：谷戸橋～小足立橋付近にお住いの方々
※開催日程、場所が決まりましたら、ご案内のチラシを配布します。

○令和元年11月中旬頃（予定）

- ・ 野川河床整備工事現場着手（谷戸橋下流～小足立橋下流 施工延長 約440m）

○令和2年3月頃（予定）

- ・ 野川河床整備工事完了（谷戸橋下流～小足立橋下流 施工延長 約440m）

* 以後、上流に向けて順次区間ごとに工事を行っていきます。

完

ご清聴ありがとうございました。

◎ 「野川流域河川整備計画」の本文は、東京都建設局のホームページで公表しています。



二次元コード

[URL:http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/river/jigyo/kasenseibikeikaku/index.html](http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/river/jigyo/kasenseibikeikaku/index.html) 【野川流域河川整備計画】で検索

◎ 本日の野川河床整備事業説明会で配布した「説明資料」と「議事録」は、後日、当事務所のホームページに掲載いたします。



二次元コード

[URL:http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jimusho/kitanan/index.html](http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jimusho/kitanan/index.html) 【東京都北多摩南部建設事務所】で検索

問合せ先：東京都北多摩南部建設事務所 工事第二課

設計担当 鈴木・矢島 TEL042-330-1846